

BTMU CHINA WEEKLY

発行：三菱東京UFJ銀行 国際業務部 海外業務支援室

編集：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 海外アドバイザリー事業部 中国グループ 情報開発チーム

EXPERT VIEW:【日系企業のための中国法令・政策の動き】

今回は 9 月下旬から 10 月中旬にかけて公布または施行された法令をとりあげました。一部それ以前に公布され、公表が遅れたものを含んでいます。

〔行政法規〕

- 「国務院の発展改革委等部門の一部産業生産能力過剰及び重複建設抑制と産業健全発展誘導に関する若干の意見の許可・転送の通知」(国発[2009]38 号、2009 年 9 月 26 日発布・実施)

〔規則〕

- 「中国人民銀行、商務部、中国銀行業監督管理委員会、中国证券监督管理委员会、中国保険監督管理委員会、国家外貨管理局のサービス・アウトソーシング産業発展への金融支援に関する若干の意見」(銀発[2009]284 号、2009 年 9 月 7 日発布・実施)

- 「財政部、国家発展改革委員会、科学技術部、工業情報化部、商務部、国務院国有資産監督管理委員会、中国銀行業監督管理委員会、中国证券监督管理委员会、中国保険監督管理委員会の政府と企業の請負発注による我が国サービス・アウトソーシング産業発展奨励に関する指導意見」(財企[2009]200 号、2009 年 9 月 23 日発布・実施)

- 「国家発展改革委員会、科学技術部、工業情報化部、財政部、住宅都市・農村建設部、国家品質監督検閲検疫総局の半導体証明・省エネ産業発展意見の印刷・発布に関する通知」(発改環資[2009]2441 号、2009 年 9 月 22 日発布・実施)

- 「改正施行後の特許法の過渡弁法」(国家知識産権局第 53 号、2009 年 9 月 29 日公布、同年 10 月 1 日実施)

鉄鋼、セメント、板ガラス、石炭化学、多結晶シリコン、風力発電設備の 6 大業種及び電解アルミ、造船、大豆搾油等の生産能力過剰、重複建設が深刻であるとして、その抑制を打ち出したもの。具体措施としては、参入条件の厳格化、環境・土地規制強化、融資規制強化、プロジェクト審査認可の厳格化、地方各級政府に対する問責制実施など。

サービス・アウトソーシング産業に対する金融支援を地方に指示したもの。アウトソーシング企業向けの新金融商品の開発、信用共同体による保証・企業間保証など多様な外部保証手段の採用、株式上場・債券発行の支援、輸出信用保険の整備、オフショア取引での人民元建て決済の奨励など。

同じくサービス・アウトソーシング産業の発展に関して、政府による企業への業務発注促進などを地方に指示したもの。ほかに、各級政府と企業に対する宣伝強化、政府調達拡大、業務発注規範と技術標準の制定、企業サービス評価制度の確立など。この通知は、今年 1 月の「国務院弁公庁のサービス・アウトソーシング産業発展問題に関する回答書」(国弁函[2009]9 号)で、20 都市で優遇措置を実施することを受けて出された。なお、優遇措置の内容については、本誌 3 月 4 日号をご参照。)。

LED 照明、有機 EL 照明の発展政策に関する文書。目標は、2015 年までにこれらの年成長率を 30%程度とする、市場占有率を製品市場で 20%程度、液晶背面ライト市場で 50%以上、景観装飾製品市場で 70%以上とするなど。政策措置としては、統一計画の制定、国家プロジェクト化による研究・応用の促進、財政投資の拡大、生産設備輸入免税・国産 MOCVD 装置購入補助・省エネ製品指定などの奨励措置の適用など。

今年 10 月 1 日から特許法が改正施行されるのを受け、旧法と改正法の適用基準を示したもの。10 月 1 日以降の特許申請と当該申請に基づく特許権授与、特許実施の強制許可請求、特許業務管理部門による特許権侵害行為の処理、特許マークの表示、外国人・外国企業等による特許代理機関への委託・変更などは、改正法の規定が適用される。

(本シリーズは、原則として隔週で掲載しています。)

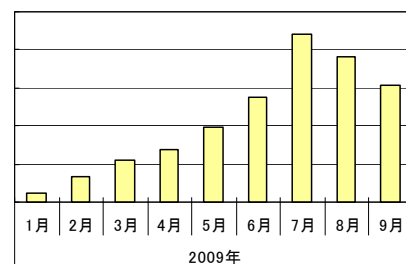
CHINA WEEKLY

WEEKLY DIGEST

【経済】

◆「家電下郷」販売額 2ヶ月連続で減少: 商務部の発表によると、「家電下郷」対象製品の販売額は、7月の88.2億円をピークに、8月が76.0億円、9月が61.8億円と2ヶ月連続で減少したことが明らかになった。農民の家電製品購入に対して補助金を支給する「家電下郷」政策は、今年2月から全国で実施され、対象製品の販売額は夏場まで月平均で50%近い増加を続けたものの、売れ筋の冷蔵庫が季節要因から、7月に47.3億円と過去最高を記録した後、8月に37.0億円、9月に25.3億円と減少を続けたことが、全体の減少につながった。一方、カラーテレビ、洗濯機等その他の対象製品の増加傾向は堅調で、年末に向けてこれらの製品が販売最盛期に入ることから、全体の販売額は回復に向かうとの見方もあるが、政府は最近の落ち込みを受け、政策拡大を検討するとの見方もある。

(億円) 「家電下郷」対象製品の販売額推移



(資料)商務部「家電下郷」情報管理システムサイト

◆9月の財政収入 前年同月比33%増と5ヶ月連続増加: 財政部の統計データによると、9月の全国の財政収入は5,509.35億元に達し、前年同月比33%増加した。1~9月の累計では5.15兆億元、前年同期比5.3%の増加となり、年度目標(6.62兆元、8%増)に対し、目標進捗率を上回る勢いで伸びており、政府は目標達成可能との見通しを示している。増収の要因として、経済の回復や基数となる昨年の数字が小さかったことに加え、製品油税改革による消費税の増加等を挙げているが、今年に入って、徴税管理が強化されていることも増収増加につながっている。

【産業】

◆9月の電力消費 前年比10.2%増: 14日に国家エネルギー局が発表したデータによると、9月の電力消費量は前年同期比+10.2%の3,224.08億kWとなり、伸び率は8月に比べ2ポイント上昇した。工業用電力消費のうち、重工業における電力消費が同+9.5%と伸びが大きかった。電力消費は、金融危機の影響を受け、昨年10月から前年比減少に転じ、その後今年6月に底を打って以来、伸び率は6月同+4.3%、7月同+6.0%、8月同+8.2%と回復基調が続いている。電力消費の緩やかな回復は、中国経済の好転を示すものとして、その動向が注目されている。

◆9月の70大中都市の不動産販売価格 前年同月比2.8%上昇: 国家統計局の発表によると、9月の全国70大中都市の不動産販売価格は前年同月比+2.8%と、6月以降4ヶ月連続で上昇し、上昇幅は前月より0.8ポイント拡大した。うち、新築物件は前年同月比+2.7%で、中古物件は同+3.8%となった。住宅タイプ別では、低所得者向け住宅が同+0.6%、一般住宅が同+3.7%、高級住宅が同+0.5%。都市別では、新規物件で販売価格が前年同月比上昇した主要都市は、金華(+8.7%)、寧波(+7.5%)、錦州(+7.4%)、下落した主要都市は、徐州(▲4.4%)、唐山(▲2.4%)、石家荘(▲2.2%)。なお、1~9月の全国不動産投資額は前年同期比+17.7%の2.5兆元となり、増加率は1~8月より3ポイント上昇した。

【金融・為替】

◆9月の人民元貸出増加額 5,167億元(約6.8兆円)に: 中国人民銀行の統計データによると、9月に増加した人民元貸出は5,167億元となり、市場や当局が予想していた3,000~4,000億元を大きく上回った。四大国有銀行の増加額は今年に入って最低水準の1,105億元に留まったことから、中小銀行の貸出増加が大きかったことが窺われる。また1月~9月の人民元貸出増加額は前年同期比149%増の8.67兆元に達しており、政府が適度な金融緩和政策を継続する姿勢を示しているものと見られる。また、2009年通年の人民元貸出増加額は、目標の4.6兆元に対し10兆元まで膨らむ可能性があるとも見られている。なお、9月末の外貨準備高は前年比19.26%増の2兆2,726億米ドルとなった。

◆2009年上半期の国際収支統計 経常、資本・金融項目共に黒字規模は縮小: 国家外貨管理局は15日、2009年1~6月の国際収支統計(確定値)を発表した。経常収支、資本・金融収支共に黒字となったが、黒字規模は大幅に縮小した。項目別では、経常収支の黒字が前年比30%減の1,345億米ドル。うち、貨物貿易は、外需低迷等の影響を受け、輸出入共に取引量が減少、黒字額も同10%減の1,190億米ドルとなった。サービス貿易は、輸送、旅行サービス等の輸入超過が拡大し、赤字額が同4.1倍の167億米ドルとなった。一方、資本・金融収支は前年比15%減の610億米ドルの黒字。うち、金融収支の直接投資が156億米ドル、証券投資が202億米ドル、その他が239億米ドルの流入超となった。

人民元の動き

日付	USD			JPY (100JPY)		HKD		EUR		金利	上海A株		
	Open	Range	Close	前日比	Close	前日比	Close	前日比	Close	(1wk)	指数		
2009.10.12	6.8270	6.8230~6.8270	6.8234	-0.0022	7.5579	-0.0934	0.8804	-0.0003	10.0538	0.0026	1.5900	3037.59	-18.11
2009.10.13	6.8260	6.8244~6.8279	6.8265	0.0031	7.5900	0.0321	0.8809	0.0006	10.0861	0.0323	1.7200	3081.38	43.79
2009.10.14	6.8267	6.8248~6.8277	6.8265	0.0000	7.6580	0.0680	0.8807	-0.0002	10.1664	0.0803	1.5500	3117.48	36.10
2009.10.15	6.8258	6.8254~6.8290	6.8287	0.0022	7.6342	-0.0238	0.8809	0.0002	10.1990	0.0326	1.5000	3127.21	9.73
2009.10.16	6.8275	6.8255~6.8280	6.8268	-0.0019	7.4802	-0.1540	0.8807	-0.0002	10.1683	-0.0307	1.5300	3123.90	-3.31

RMB レビュー&アウトルック

人民元は対主要通貨での米ドル安を背景に週初約4ヶ月ぶりの高値となる6.8230まで上昇した。週央にかけて中国経済指標の発表や米財務省による為替政策報告書発表(中国を為替操作国に認定せず)があったものの人民元為替相場は、6.8250が高値目処として意識され、その後は6.82台半ばでの小幅な値動きのまま越週となった。中国国内市場では依然、対米ドルで小幅な値動きが続いているが貿易統計にて輸出に回復の兆しが見られることや、世界的に投資家のリスク許容度が回復する中、中国に対する純資本流入拡大も想起され、海外市場(NDF市場)では徐々に人民元の上昇期待が高まりつつある。来週の人民元為替相場は6.8250近辺では高値警戒感が上値を抑え、総じて小動きの展開となろうが、経済指標の改善も予想されており、出口戦略をめぐる当局者発言には一層の注意が必要だろう。(10月16日作成) (市場営業部 為替営業推進グループ グローバル営業ライン)

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。